

携帯型タイムレコーダーで 出退勤、勤務シフトも管理

信愛プロジェクト

飲食店経営などの(有)信愛プロジェクト(出雲市浜町、山根保社長) IT事業部は出退勤情報から勤務シフトまで管理するシステム「Shiftime」を開発し、販売を開始した。

同

社は島根県内で「モスバーガー」などをフランチャイズ・チェーン(FCC)展開する(有)信愛フードサービス(同、同)のグループ会社。

同システムは、従業員が出退勤に携帯電話サイズのタイムレコーダーを個人のバーコードにかざすと、

記録する。転送情報を自動計算し、タイム

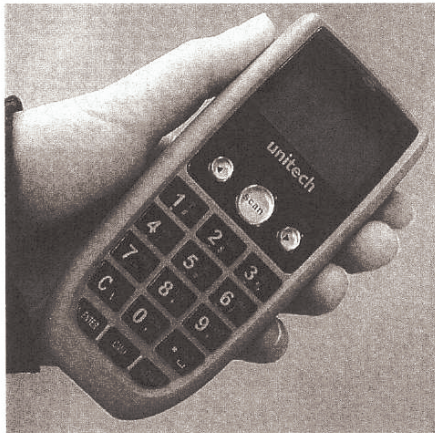
カード管理で必要だった集計作業を省く。併せて勤務シフトも管理し、シフトの予定と実績を比較できる。

同事業部は、グループ会社が展開している店舗の勤務管理の簡略化を図るため、同システムを考案。島根県内でFC展開する4店舗などでの試験運用を経て、販売を開始した。価格は12万6000円で、現在は特別価格の9万

8700円で販売している。

同社IT事業部の安達智之リダーは「勤務管理に困っている全国の企業に広げたい」と意欲を示す。

◎問い合わせは、同社IT事業部、☎0853(23)2896。



専用バーコードを読み取る携帯型タイムレコーダー